

ふれあい通信

令和6年2月26日

岐阜市子ども・若者自立支援教室



3月号



岐阜市子ども・若者自立支援教室ってどんなところ？

- 岐阜市子ども・若者総合支援センターが開設している自立支援教室で、市内に5教室あります。(下※1を参照)
 - 主に不登校で困っている児童・生徒の皆さんや、相談をご希望の保護者の方や先生方に利用していただいています。
 - 教科学習のほか、読書、創作活動、集団遊びなどの仲間と関わる活動を行っています。
- また、年に5回程度、スポーツ・音楽体験・金華山登山などの「ふれあい活動」を行っています。



この1年を振り返って

今年度も残すところあと1か月です。通所している子どもたちに「自立支援教室へ通って成長を感じたことは？」と聞いてみました。どの子どもも心の成長を感じられてうれしく思いました。

- ・学校や自立支援教室にたくさん行けるようになった。・学習タイムに集中して勉強ができた。漢字や英語の検定にチャレンジできた。学習習慣が身について、家でも勉強しようという気持ちになれた。
- ・今までドッジボールをやろうと思わなかったが、やってみて結構楽しいとわかった。缶蹴りや中当てドッジ、震源地など新しい遊びを覚えた。ルービックキューブやジャグリングの技も覚えた。
- ・たくさんの人と関わるできるようになった。自分から話しかけられるようになった。
- ・今まで友達とトラブルを起こすことがあったけど、言っちゃいけないということがわかるようになった。



今年度最後の保護者会から

2月14日に、今年度最後の保護者の会「ぼちぼちいこか」を開催しました。「この1年の子どもの成長を振り返って」をテーマに交流し、参加者から今までの苦労や今の思いを話していただきました。子どもの幸せを願いつつ、このままでいいのかという日々の葛藤について、共感し合える場面が多くありました。保護者の話を受け、アドバイザーからは、学校で話ができる先生を増やしていく、少しでもできたことを認めていくことが、お子さんの成長につながっていくと話されました。臨床心理士からは、「多様な学びプロジェクト」のアンケート結果について教えていただきました。また、子どもがエネルギーを取り戻していく過程について、お子さんのいいところに目を向けてほしいということも話されました。

- これからの世の中、「子どもが自分で選んで生きていく」ということが大切だということに気付いた。
- 子どもに寄り添うお話が聞けた。子どもを信じて、今の楽しみからつなげ、積み上げ、自信につなげていく応援をしていきたい。(参加者の感想より)



3月の予定



月	火	水	木	金
				1
				終日
4	5	6	7	8
午前	終日	終日	終日	終日
11	12	13	14	15
午前	終日	終日	終日	終日
18	19	20	21	22
午前	終日	春分の日	終日	終日 大掃除
25	26	27		
閉室 チャレンジ	閉室 チャレンジ	閉室		

今年度も、たくさんの方のご参加とご協力を頂きまして、ありがとうございました。“エールぎふ”のホームページでは保護者の会の案内の他、施設の紹介やお知らせなどを掲載しています。ぜひご活用ください。

ホームページ <https://yell-gifu.jp/>



◆ 自立支援教室の開室時間

月曜日・・・ 9:30～12:00
火・水・木・金曜日 9:30～14:00
(※午後閉室のときがあります)

◆ バスの送迎 (岐陽教室のみ)

火・木・金曜日 (※月・水曜日はありません)
朝 9:00発 帰り 14:00発

※1 <岐阜市子ども・若者自立支援教室>

- ・明德教室1(子ども・若者総合支援センター内) TEL 269-1321
- ・明德教室2(子ども・若者総合支援センター内) TEL 269-1321
- ・七郷教室(旧岐阜養護学校小中学部内) TEL 234-8551
- ・岐陽教室(岐陽体育館内) TEL 240-7012
- ・芥見教室(岐阜市教育研究所内) TEL 243-2011

■相談をご希望の方は、岐阜市子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”までご連絡ください。

総合相談 (TEL 0120-43-7830)